



来店者に特産品を販売する高校生

TOPIC 4 商品の良さを伝えたい

10/3 白糠高等学校2年生が実践販売

白糠高等学校の2年生18人が、コープさっぽろ白糠店の店舗を活用して、道内の特産品を販売しました。2年生は「ビジネス基礎」の授業で、経済の仕組みやマーケティングを学習してきました。今回は実践販売を通して、接客マナーを身につけることが目的です。生徒たちは「いらっしゃいませ」と呼びかけ、多くの人に特産品を販売。販売を終えて「接客の難しさを知りました」「上手に販売するためには周りとの協力が必要」などと感想を話していました。



ドライバーに安全運転を呼びかける高校生

TOPIC 1 事故のない町を目指して

9/22 交通安全街頭啓発「旗の波作戦」

交通安全街頭啓発「旗の波作戦」が、釧白工業団地入口から白糠養護学校前までの国道38号沿道で行われました。旗の波作戦は、1988年から「秋の全国交通安全運動」に合わせて毎年実施しています。この日は、交通安全指導員をはじめ、各町内会の地域住民や学生、園児など約800人が参加。白糠高等学校の生徒は、交通安全と書かれた黄色い旗を振り、「スピード出さないで」などと道行くドライバーに安全運転を呼びかけました。

TOPIC 5 スマートフォンの使い方を基礎から学ぶ

10/5 公民館スマートフォン講座

スマートフォンの基本的な使い方を学ぶ「スマートフォン講座」が公民館で開催されました。講座は、ケイズプランニングの佐々木圭一さんを講師に招き、10月5日から26日までの毎週火曜日全4回の開催。初日は7人が参加し、Wi-Fi（ワイファイ）の設定方法やカメラ機能の使い方などを学びました。澤口静子さんは「講座に参加して、スマートフォンのいろいろな機能が使えるようになったら最高ですね」と話していました。



佐々木さん（左）からスマートフォンの使い方を学ぶ参加者

TOPIC 2 木島誠悟さんの絵本を贈る

9/22 馬木葉が小学校などに絵本を寄贈

株式会社馬木葉の松野穰社長が、町教育委員会に絵本を寄贈しました。絵本は、松野社長と親交がある木島誠悟さん（釧路市在住）の6作品78冊。町内の小学校やこども園など、13施設に6冊セットで設置します。この日は役場で贈呈式があり、川島教育長は「たくさんのお子様に読ませたい」と感謝を伝えました。松野社長は「コロナ禍によりいろんなことを我慢しながら生活しているので、大人の方にも絵本を読んでもらいたい、不満を解消してほしい」と話していました。



川島教育長に絵本を手渡す松野社長と娘の千紘さん



自身が育った環境など経験談を織り交ぜて話す岩見医師（中央）

TOPIC 6 性と生について考える

10/6 白糠高等学校「思春期保健講座」

白糠高等学校（田村信明校長、生徒66人）は、神谷レディースクリニックの産婦人科医 岩見菜々子医師を講師に招き、全校生徒を対象にした「思春期保健講座—自分で決めよう性と生—」を開きました。講演では、岩見医師が思春期における心と体、性感染症とその病原体、SNSによる性被害などについて説明。岩見医師は「10代は妊娠しやすく、毎年中絶している人がいる。中絶は心や体に大きな負担がかかるので、自分の体を大事にしてほしい」と述べました。



ゆでたての毛ガニに長蛇の列

TOPIC 3 毛ガニを求めて大行列

10/2 しらぬか秋の収穫祭

地元の食材をPRする「しらぬか秋の収穫祭」（白糠振興公社主催）が恋問館駐車場で開催されました。収穫祭では、100杯限定のゆで毛ガニや毛ガニの鉄砲汁、タコ飯、採れたての野菜などを販売。小雨の降るあいにくの天気でしたが、ゆでたて毛ガニには、長蛇の列ができていました。釧路市在住の藤田貢さんは「ゆで毛ガニは1人2杯までなので、販売開始の1時間前から並んでいます。食べるのが楽しみです」と話していました。